

令和6年度学校経営自己評価（教職員）		
（4：できている　3：どちらかといえばできている　2：どちらかといえばできていない　1：できていない）		
取組の重点　観中魂を誇りに　～Be the Player!!～		取組の成果と課題（自由記述）
評価項目	評価	
【授業改善・確かな学力づくり】		
○「さぬきの教員授業づくりの三訓」を踏まえた授業実践 ① 学びの質を高め、わかる授業づくり ・教師が教え込む授業と生徒どうしが学び合う授業の計画的な実践 ・学びを深め、つながるICT活用の工夫	3.10	・生徒が自主的に取り組む工夫が十分でなかった。しかけて待つ姿勢を大切にしたい。 ・ICTを上手く活用できた記憶があまりなく、同じようなことをしている感覚がある。改善したい。 ・グループワークをする機会が少なかった。積極的に取り入れたい。
② 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 ・個別最適な学びやユニバーサル・デザインの視点を取り入れた授業実践	2.95	・個別にもっと関われたのではないかと反省している。 ・個別最適な学びについては、研鑽が必要だと感じている。授業で実践はしたいと思っている。
③ 学び続ける基礎を培う学習良習慣の育成 ・学習計画の作成とやり抜く指導 ・振り返り等による自己調整能力の育成	3.05	・タブレットの持ち帰りに伴って、個別の学習計画作成や家庭学習の充実が図れたらよいと思う。 ・学校で統一して、各教科の授業の振り返りや学期末の振り返りをタブレットに入力できればよいと思う。
【道徳教育及び人権・同和教育の充実成】		
○「道徳の日」「人権の日」を大切にした効果的な指導の展開 ① 道徳科を要にした道徳教育の充実 ・質的充実を目指した協働体制による道徳科の授業づくり ・生徒が自らの成長を実感できる評価の工夫	3.26	・道徳でもっと話し合いや発表の場面を作るべきだった。 ・「道徳の日」、「人権の日」に配布してくれる資料がたいへん役に立った。 ・学校全体で取り組んでいる感じがとてもよかった。
② 人権尊重の精神と実践力を培う人権・同和教育の充実 ・観音寺市教材「輝き」の授業実践 ・互いに認め合い支え合うなかま作り	3.40	・人権・同和教育に関する知識や感覚をもっと養いたい。 ・年に2回の交流研修会で私たち職員の人権感覚や人権・同和教育に対する資質向上が図られている。
③ 夢や目標を持たせるキャリア教育の推進	3.25	・総合的な学習や特別活動の中に意識付けができるものにできるようにしたい。 ・地域の情報を収集して生徒にフィードバックさせることで、生徒に夢をもたせることは大事だと思う。
【生徒指導・不登校対策の充実】		
○意図的なリーダー養成及び多様な活躍の場の設定 ① 自己指導能力を育む生徒指導の推進 ・自己存在感、共感的人間関係、自己決定の場の意図的かつ計画的な設定 ・達成感や成就感を味わえる活動の工夫	3.30	・不登校傾向の生徒への関わり方をもっと模索したい。 ・リーダーズを活躍させる場を設定する機会が少なかった。 ・学活の話し合い活動などで、リーダーズが司会進行などできる機会を設けた。 ・リーダー意識を上げてやる必要があるのかもしれない。
② 問題行動や不登校等に組織的に対応する校内体制の整備 ・「さぬきの教員かわりの三訓」を踏まえた学年団、教職員集団づくり ・不登校傾向生徒への支援体制の充実	3.70	・生徒指導の未然防止に向けて、先生方が連携し組織的に動いていた。 ・生徒が活動する場所には必ず教師の姿があったことで、問題行動の未然防止につながっていた。 ・SSTが連携で特性のある生徒への対応動いてくれているのでこれからも継続してほしい。
③ 関係機関等との連携の日常化 ・教育支援教室、市子育て支援化等	3.40	・支援センターの方と定期的に情報交換できた。 ・不登校生徒の対応として支援教室との連携を継続。 ・学校外での問題行動には育成センターや警察の協力や連携が必要。
【心身の成長を促す計画的な指導・支援】		
○子供のウェルビーイングの維持、向上の基盤となる取組みの充実 ① 心身を整える ・全教職員による日常的な健康観察 ・ネット・ゲーム依存予防対策	3.15	・職員のウェルビーイングの維持が生徒や保護者への対応や指導に余裕をもつことができるように思います。 ・タブレットを使つての日常的な健康観察が定着してきた。
② 食育の推進 ・栄養教諭を核とした指導の充実	3.35	・給食を好きな生徒が多い。 ・毎月の献立が工夫されていて、おいしく楽しい給食の時間を過ごすことができます。
③ 部活動の充実 ・目標に向かって自主的継続的に活動、技能・体力・マナー・耐性の向上 ・部活動ガイドラインに基づく練習時間及び休養日の設定	3.60	・グーグルクラスルームを活用し、部活動の様子や予定を発信することで保護者の方と連絡を密にとることができた。発信の頻度を上げたいと思う。 ・部活動ガイドラインは守れたと思う。 ・部活動の地域移行がスムーズにできることを願う。
【心身の成長を促す計画的な指導・支援】		
① チームとしての学校及び教職員の働き方改革の推進、適切な情報発信	3.65	・民生児童委員の方と連携し、部活動を行うことができた。今後も生徒の様子を報告し合いながら部活動を行いたい。 ・教職員が余裕をもって丁寧な生徒指導や保護者連携に務められるように、学校の業務改善をさらに進めていきたい。 ・観音寺中学校ホームページのリニューアルで情報発信が充実した。
② 学校運営協議会、PTA等による学校課題解決のための地域学校協働活動の創造	3.55	・PTA組織や活動の見直しができた。